

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生活環境保全事業			
予算科目	4 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～環境の保全			
所管課情報	担当課:	環境保全課	電話番号(内線):	535
記入者情報	所属長:	出来 和人	担当責任者:	桂城 健恭
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内全域			
根拠法令等				
事業の目的	先人達から受け継いだ素晴らしい自然を次の世代へ引き継ぐ責務に気付き、市民・事業者・行政が協働して、良好な環境の中で市民生活を営むことができるよう、豊かな環境がもたらす財産を守るための持続的な活動に取り組む。			
事業の内容	市民清掃等により生じる廃棄物の処理、不法投棄の防止に向けた啓発			
改善策の具体的な取り組み(当初)	地域ボランティア清掃を全地域に広げるような広報・周知をしていき、市民清掃活動を各地域で推し進めていくようにしていく。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	2,113	2,674	2,224	2,379
	人件費	4,881	5,227	2,614	5,227
	合計	0	7,901	4,838	7,606
人件費内訳	人工数	0.60	0.65	0.33	0.65
	人件費単価	8,135	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,881	5,227	2,613	5,227
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,994	7,901	4,838	7,606

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
クリーン伊予運動(参加人数)	人	6651	7000	6066	6066
クリーン伊予運動(可燃物処理経費等)	台(千円)	10(341)	14(469)	8(298)	8(298)
クリーン伊予運動(不燃物及び汚泥処理経費等)	台(千円)	16(1391)	20(1760)	20(1760)	20(1760)
不法投棄防止看板配布数	枚	11	15	1	12

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
		3,200	3,200	3,200	3,200	

成果指標				
成果指標	不法投棄件数(件)			
指標設定の考え方	環境保全に向けた意識向上のバロメーターとして設定。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	13	10	0	0
実 績	10	12	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民のボランティア清掃の意識は、以前より高まってきている。しかし、高齢者や学生等が多い傾向にある。普段、仕事をしている市民の方たちに、ボランティア清掃に参加してもらう仕掛け作りが必要である。そのためには、家族ぐるみで参加できるような施策を検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民主体による地域の一斉清掃は、地域に暮らす住民が自ら循環型社会の一員であることを自覚して、率先して美化運動を推進していく必要がある。これを1年に一度だけの取り組みとせず、年に数回の定期的な取り組みになるように、地域へ働きかける必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	